

会議名	第3回千郷地域協議会		公開
日時	令和5年6月18日(日) 午後1時00分～午後4時25分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 鈴木重好、今泉秀繁、中島敏和、熊谷則之、山本孝弘、瀧下一美 古市隆宣、杉木宏次、牧野勲、伊藤雅明、宮下利夫、渡邊省仁 小山明宏、竹下忠之、天野清孝、高柳友一、近藤武、羽佐田太一 原田祐子、竹下順、林義和、菅原次郎、藤田秀雄、山崎明美 鈴木八百子、鈴木ゆみ子、北尾志穂		
	(事務局及び市) 千郷自治振興事務所：今泉雅晴所長、宮本博之(正担当) 市民自治推進課：杉本晶子参事、森本陽子(副担当)		
欠席者	(委員) 今泉まり	傍聴者	19名
配布資料	次第 地域活動交付金の審査会開催日程表 地域活動交付金審査会審査資料一式 審査除外一覧表 地域活動交付金2次募集の有無に関する検討資料		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会及び会長あいさつ

山本会長によるあいさつの後、本日の会議成立の報告を行った。

会議に先立ち会議録署名者を会長より「古市隆宣」委員、「杉木宏次」委員の2名を指名し両委員ともに承諾がされたため、次第に従い説明に移った。

議事に入る前に事務局より、本日の議事である地域活動交付金の審査方法及び注意事項について以下のとおり説明が行われた。

(1)説明5分、質問7分、採点3分。なお事前に通知した質問事項についての回答は説明時に加味して行う。

(2)説明時にタイマーを事務局より申請団体に対しお渡しし、1分前になったら事務局よりボードにてお知らせする。

(3)採点票記入欄には活動に対する応援メッセージや疑問に感じた理由を記入する。

また、傍聴者への注意事項として、審査の際に質問できるのは審査する地域協議会委員のみに限定されていること、さらに全体として、携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくかマナーモードに切り換えていただくことをお願いし事務局からの説明を終え、次第に基づき議事に移った。

2 議事

第1号議案 令和5年度千郷地域自治区地域活動交付金審査会

(1)公開審査(プレゼンテーション)

※全申請団体共通事項としてプレゼンテーション終了後、本地域協議会より申請団体に対し事前に質問がされている内容に対するご回答を聞き、それらを踏まえた質疑応答に移ることとされている。

審査①

団体名：千郷西こども園保護者会

事業名：「千郷西子ども健全育成事業」

（※事前質問）

<事前質問Q1>保護者の参加はよろしいと思いますが、どこまで参加される方を拡げる、または参加者の想定をお考えでしょうか？

もしくは、本申請事業に参加される全体の人数を制限されますか？

《事前質問回答A1》対象者は限定させていただきます。園長先生とも相談の結果、千郷地区の保護者及び未就園児、その他千郷地区にお住まいの方を対象としています。

<事前質問Q2>参加者に事故・ケガが起きた際の対応を教えてください。

（※保険等の加入の有無など）

《事前質問回答A2》保護者会役員の方のほとんどの方に当日は安全管理の確保として出役していただくほか、移動動物園スタッフやこども園の保育士さんにもお手伝いいただき事故やケガが無いよう最善の対策を整えたいと考えています。その他にもアレルギーがある園児も居るかもしれないため、年度当初にアンケートを実施、また、園長先生へのヒアリングを行い、アレルギーがある園児の特定やどのようなアレルギーがあるのかなど、詳細を整理し保護者会で情報共有し、動物から一定の距離を保つなど安全を確保しながら楽しんでいただくよう配慮したいと考えています。また、動物に触れた際は手洗い、消毒の徹底する環境を整えたいと考えています。また、ポッキー先生の場合については、入園時、また進級時において園に対し園生活のリスクに対応した保険料金を支払っており今回の事も園長先生に確認したところ何かあった場合には適用されるとの回答を得ています。しかし、事故やケガが無いようにすることが一番であると考えているため、保護者会の役員が補助に入るなど安全管理の徹底を図りたいと考えています。

また、本事業の開催は7月・9月と暑い時期を予定していることからテントを設置し日陰を作るなど熱中症対策にも配慮し、園児や参加者などの安全を確保したいと考えているほか、チラシ等にも水分補給ができるよう参加者には飲み物をご持参頂くことを呼びかけています。

（※審査会の場での質問事項）

<質問Q1>身体を動かすなどの活動に参加したくない園児の人数はどの程度想定されていますか？また、そうした園児は居ると思いますか？

《回答A1》園での運動会や発表会でもうずくまっている園児も見受けられるが、具体的な人数はわかりません。しかし、そうした園児にも身体を動かす事を無理強いすることなく、ポッキー先生がそうした園児が居た場合を想定して、身体を実際に動かさなくても見て楽しめるような企画も考えていただいている。その場では身体を動かす事を拒否していても、ご自宅に帰った際など思い出して保護者と一緒に振り返りながら身体を動かすようになっていただけると良いと考えています。

審査②

団体名：川田原区自治会

事業名：「川田原公民館を利用した区民活動活性化事業」

（※事前質問）

<事前質問Q1>行政区の活動備品について、区費での購入はできないのでしょうか？

《事前質問回答A1》今回の申請は川田原区だけの活動に活用することを目的としたものではなく、千郷地域全域で行われる各種地域活動や催しなどにも広く活用できれば

と思い申請したものです。行政にも貸出しするための機器はあるとは聞くものの、煩わしい手続きもあると聞いており、そうした煩わしさも無く地域で柔軟に利用できる機器として活用することを想定したもので、是非、他の行政区から貸出しの要請があれば貸出しをするため、積極的に活用をしていただくことを願います。また、機器の取扱いが不慣れで詳しく扱い方がわからないような場合も想定されるが、本日同席した構成員が機器の取扱いに詳しいため、必要に応じレクチャーにも対応できる環境を整える考えである。

<事前質問Q 2>購入予定の備品の選定には十分な検討をされたと思いますが、具体的な選定のポイント（例えば、このようなものでないと活動に十分に活かせないなど。）を少し教えてください。

《事前質問回答A 2》川田原区としては、引き続き公民館活性化に向けた取組みを検討していくが、先ほど説明したとおり映像として活動の記録を残し、そうした映像を観られる環境を整えることによって、公民館へ足を運んでいただくひとつの手段としたいと考えている。また、公民館へ積極的に足を運ぶようになれば、高齢者の外出促進を図ることとしても有効であると考え、孤立や孤独とならないように顔の見える関係づくりの一端を担うことができると考えている。また、地域に目を向けると、主にこどもを対象に遊び場・居場所づくりの提供として実施されているプレーパークなどにも活用し鑑賞できる環境があれば地域の活性化にも繋がると考えている。さらに、防災意識を高めることを目的に実際の被災地に派遣された市職員からの講演会なども今後実施することを想定しているが、そうした場合にもやはり大きな画面、綺麗な画質が必要では無いかということ、以上のようなことから今回のような備品を選定した。

(※審査会での質問事項)

<質問Q 1>録画データ等何年間の保存を考えており、そうしたものを保存するスペース（場所の確保）は想定されているか？

《事前質問回答A 1》保存スペースについては、録画データをSDカードで保存することとなるため、特別な大きな保存スペース等が必要であるとは考えていない。また、保存期間については現時点では具体的に定めはないものの、当該年度の行政区の役員等と協議し決定する方針として。しかし、先ほども説明したとおり、SDカードでの保存、またデータをPC等にうつしかえての保存であることで、大きなスペース等も確保しなくて良いことから、無理にデータ廃棄することも無いと考えていることから長期間の保存が可能である。今後保存年限等については検討し一定の基準など定めるようにしたい。

審査③

団体名：千郷地区青色防犯パトロール隊

事業名：「地域の安全・安心強化推進事業」

(※事前質問)

<事前質問Q 1>交通安全推進協会から助成金が出ていると思いますが、このような活動費用に活用することは出来ないのでしょうか？（※そうした費用は含まれていませんか？）

《事前質問回答A 1》交通安全推進協会からの助成金は5万円の上限があり、この助成額の範囲内で対応していくこととなれば2～3台程度しか整えることできない。また、新たな隊員加入に対応するためのベストや帽子、誘導棒などの購入費に充てる必要があるため、今回の活動を助成金で対応することが難しいと考え、今回申請させて頂いた。

<事前質問Q 2>青パト隊員が千郷地域自治区の全行政区に隊員が居ないのは、なぜでしょうか？

《事前質問回答A 2》各行政区から隊員が加入されることが望ましいが、強制するものでもなく隊の目的や活動内容等に賛同いただき、加入を承諾していただいた地域住民の方々に活動をしている。今後も加入促進を図っては行くが、各行政区の考えもあるため、無理強いはしないこととしている。現在11地区の行政区の地域住民が加入されている。

＜事前質問Q 3＞今回購入を考えているドライブレコーダーの取付車両は限定されますか？

《事前質問回答A 3》脱着可能な吸盤での設置可能なドライブレコーダー導入を考えているため、限定されるのではなく、隊員のパトロール車両にその都度設置するような運用を想定している。

＜事前質問Q 4＞購入されたドライブレコーダーの管理はどのようにされますか？

《事前質問回答A 4》基本的には、各パトロール班ごとに隊員により責任をもって管理していただく事を方針としているが、故障等が生じた場合本隊に報告していただき対応を検討することとしたい。

＜事前質問Q 5＞隊員の方の健康管理は、団体としてどのようにしていますか？

《事前質問回答A 5》隊として厳しく管理しているとか、健康診断を受診していただいているとかは無いが、パトロールは常に2人一組で実施しているため、パトロール前にはお互い健康状態を確認しながら無理の無い活動を心掛けている。

（※審査会での質問事項）

＜質問Q 1＞パトロールを実施中に遭遇した危険な事例や、具体的な成果をあれば教えてください。

《回答A 1》道路にタンスが落ちていたことは過去にある。また、警察からの情報提供により、「何処何処で不審者の通報があった。」という連絡も入るようになっており、そうした場合は通報のあった地域を重点的にパトロールするような事を行っている。パトロールの活動記録が記載されている。

＜質問Q 2＞録画した画像を今後どのように利用するのかお考えを教えてください。

《回答A 2》パトロール中に録画されたものについては、問題等が生じた場合は速やかに隊長に報告し、データを警察に提供するなど事件や事故の解決に有効に活用していく事を考えている。

審査④

団体名：千郷中こども園保護者会

事業名：「子どもたちの健全育成事業」

（※事前質問）

＜事前質問Q 1＞移動動物園の動物は何種類来てくれるのでしょうか？

《事前質問回答A 1》合計17種類を予定している。

＜事前質問Q 2＞未就園児の保護者への周知方法については、地区への回覧のみでしょうか？

《事前質問回答A 2》地区への回覧のみと考えている。具体的には野田区、大野田区、稲木区、諏訪区への回覧を予定しているほか、野田クリニックや西部公民館にも配布チラシ、資料など置かしていただき広く周知していくことを考えている。

＜事前質問Q 3＞今回の事業の当日の開催日程（開催時間等）を教えてください。

《事前質問回答A 3》開催日は1月18日を予定しており、移動動物園については未就園児とその保護者を対象として9時30分から10時、子育て交流座談会については10時から11時30分で当園のふじ組を予定している。また、在園児の移動動物園については10時から11時30分を予定している。

＜事前質問Q4＞参加される方の駐車場は、十分に確保されているのでしょうか？

《事前質問回答A4》こども園の駐車場は最大28台駐車可能。その他に諏訪公民館にも駐車することをお許しいただいており、十分な駐車スペースは確保されていると考えている。

＜事前質問Q5＞今回の事業は継続的な事業でしょうか？（※過去に開催、または今後実施？）

《事前質問回答A5》2018年に同交付金を活用し子育て座談会を開催した経緯がある。近年は新型コロナウイルス感染症の感染リスクが大きいとして、こうした活動は自粛をしていた。しかし、新型コロナウイルス感染の症感染状況等も落ち着きを取り戻しつつあるため、今回の活動をきっかけに次年度以降も継続的な活動として取り組めると良いと考えている。

（※審査会での質問事項）

＜質問Q1＞園児によってはアレルギーがあるかもしれないが、そうした園児への対応と、ある程度把握はされているか？

《回答A1》全園児を対象にアレルギーの調査を実施している。調査をもとにアレルギーがある園児が保護者会としても判断できるように、園の帽子を裏返しに被っていただくようお願い、さらにその園児が何にアレルギーがあるのか記載したシールを貼り付け保護者会皆で注意をするなど配慮することを考えている。

＜質問Q2＞こどもの興味は何に向けられるかわからない。たとえば奈良公園の鹿の糞に興味を持つこどもが居るように、動物そのものへの興味では無くとも、そうしたこどもの自主性といった個々の個性を伸ばすなど、そうした部分を大事にし伸ばす手立ては何か考えられていますか？

《回答A2》こどもの自主性や主体性なども重要な部分と捉え、何に興味を持つかわからないお子さんを否定することなく、好きなように楽しんでいただくことが大切であると考えている。まだ、今回動物の特徴など説明も行っていただくようお願いがしてあり、先ほど例としてあげられた糞の話のようなこともお話が聞けるような環境となるため子ども達の興味のある事にできるだけきめ細やかに対応できるようにし、楽しく学べるような良い活動になればと考えている。

＜質問Q3＞へびも来るとの事ですが、大きさはどのくらいのサイズでしょうか？

《回答A3》首に巻き付く感じの割と太いサイズと聞いています。白色と黄色のへびが来ると聞いています。

審査⑤

団体名：中市場区自治会

事業名：「大野田城跡整備事業」

（※事前質問）

＜事前質問Q1＞雑木や伐採木の除去、また下草刈り等の作業について、月1回程度の作業や整備で、今年度の計画目標どおり到達できる見込みでしょうか？

《事前質問回答A1》申請書類に添付されている計画については本会の全体で取り組む主立ったものの記載がされているため、この計画だけでは当然本年度の活動目標を達成することができないと思う。しかし、その他にも毎月参加できる区民有志によって、下草刈りや枝打ちなど少しずつ進めて行く事を考えており、目標達成できるよう考えている。

＜事前質問Q2＞昨年度の活動と今年度の活動の明確化をお願いします。できれば審査会当日に活動のイメージができるよう、図面など活用し詳しく説明をお願いします。

《事前質問回答A2》（※書画カメラによる平面図にて説明。）

本年度の具体的な活動については、お堀の中の竹林の伐採や倒木の除去、整理をする予定である。

(※審査会での質問事項)

＜質問Q 1＞大野田城址の歴史的な背景など具体的な情報を簡単にわかる範囲で結構なので教えていただきたい。

《回答A 2》現場には、市が設置した説明看板もあるが、最終的には野田城の出城であったと聞いている。「城所じょうごさい」という方が築城したとされている。学芸員や歴史に詳しい方の話によれば、野田城跡に匹敵する重要な文化財であるとの話を聞いた。しかし、残念ながら本丸の一部は形を残してはいるものの、二の丸、三の丸といった部分は現在田畑となってしまっている。中市場池については明治時代に施工されたが、そのため池となった部分が本丸であったのではないかとされているし、別の範囲が本丸であったのではないかという説もあり、様々な説がある。現在、市内外の方が興味を示し実際に現地に来るような状況となっている。そうした方々にも説明できるよう中市場区としても勉強をしていきたいと考えている。

審査⑥

団体名：稲木GHC委員会

事業名：「緑豊かで利用し易い公園の整備事業」

(※事前質問)

＜事前質問Q 1＞花壇緑化に対する経費等が一切計上されていませんが、今回の申請活動の趣旨を再度ご確認ください。(緑化活動がメイン？グランドゴルフのための活動がメイン？)

《事前質問回答A 1》本申請の目的としては、公園の積極的な利用による地域活性化であり、2つとも目的達成には必要なものであると考えている。緑化についての経費が入っていないとのことでしたが、そうした経費については本会や区と調整し考えていくつもりであり、今回の活動のメインという部分ではグラウンドゴルフの際の課題解決という部分のウェイトが大きいと思う。

＜事前質問Q 2＞設置される水道の管理方法を詳しく教えてください。(※日々誰でも自由に使用でき、制限を特に設けないものとして考えている？または、活動の時のみ使用をするため、活動の無い時には蛇口を一時的に取り外すなどし管理をする？)

《事前質問回答A 2》基本的には活動がある際に使用することを想定しており、そのために蛇口を取り外しできるもので施工することを考えている。このようなことにより、誰でも自由に好きな時好きなだけ利用できるような状態にはなり得ないと考えている。

＜事前質問Q 3＞これまで、花壇の水やりはどのようにしていましたか？

《事前質問回答A 3》今までは、ペットボトルに水を入れ持参するとか、近隣のご家庭にお願いし、水を汲ませていただいていたりと、不便な状況であった。

(※審査会での質問事項)

＜質問Q 1＞水道の加入金はどのように考えていますか？

《回答Q 1》見積りの中に入っている。

＜質問Q 2＞加入の申請者は何処になりますか？

《回答Q 2》稲木区で申請することを考えている。

＜質問Q 3＞今回の申請者と加入する名義が違うこととなるため、今回の申請は稲木区ですべきであるのが本来ではないでしょうか？

《回答Q 3》ご指摘のとおり、本来そのような事が良いと思うものの、稲木区の実情は区長、また区役員は毎年単年度で変更されていくような状況にあるため、事業の継続性などについて課題となっていた。このため、そうした課題を解決するため、稲木区の中

に事業実行を行う団体を設立しそこが責任をもって稲木区の各種事業実施を担う事としている。申請者は今回稲木GHC委員会ではあるものの、もとを辿れば稲木区ということになる。そういう意味では稲木区として申請するのが本来というのは確かなことであるものの、せっかく設立した本委員会の活動PRも兼ね今回は稲木GHC委員会として申請することとなった。このようなことから、稲木GHC委員会と稲木区はイコールであると考えていただいで結構です。

審査⑦

団体名：石田公民館運営委員会

事業名：「石田公民館開放事業」

(※事前質問)

<事前質問Q1>「モルック」という競技の補足説明を審査会当日にお願いします。

(※詳しいルールや競技人数、時間や対象年齢など)

(※審査会当日に写真等競技状況やイメージがわかるものの提示をお願いします。)

≪事前質問回答A1≫※書画カメラにてインターネットから打ち出ししたルールの詳細を説明がされた。

<事前質問Q2>「モルック」の認知度について、地域住民はどの程度であるとお考えでしょうか？

≪事前質問回答A2≫石田区ではほとんどの方が知らない競技である。

<事前質問Q3>モルックを本申請事業内に盛り込んだ経緯やお考えを教えてください。

≪事前質問回答A3≫

特定の個人がスキルを持っているスポーツでなく、認知度も低い事からスタートラインも一緒に、さらに区民皆で楽しめ、年齢関係無く簡単に参加出来る競技と考えた時にモルックにたどり着いたという事です。

(※審査会での質問事項) なし

審査⑧

団体名：ちさと郷土研究会

事業名：『千郷物語Web化運用並びに活用』事業

(※事前質問)

<事前質問Q1>のぼり旗を設置されるとのことですが、屋外ということもあり、すぐに傷んでしまうことが想定されますが、そうした際の対応を教えてください。

≪事前質問回答A1≫風雨にさらされ、のぼり旗が破れ景観を損ねている、また、見通しが悪くなっているなど、そのような事が想定できるが、そうした場合には設置した以上、設置者の責任を果たすとこの場でお約束するほかありませんが、具体的には速やかに撤去、また、取り替えできるものは取り替えるなどの対応を考えている。何にしても迅速な対応を心掛けるため、これはお願いになるんですが、地域住民の方にはそのような状態ののぼり旗を見かけるようなことがあれば情報提供していただければ幸いです。

<事前質問Q2>のぼり旗のQRコードは、問題なく読み込み可能なものなのでしょうか？(※風などにより、揺れている際や雨に濡れた場合にも読み取れるのでしょうか？)

≪事前質問回答A2≫業者に確認したところ、問題無いとの回答を得ている。しかし、屋外であることから、風に揺れうまく認識しない場合も想定されることから、旗を引っ張り読み込んでもらうなどの手間はあり得ると考えている。また、のぼり旗のみでは無

く、そうした場所にはできる限りQRコードのステッカーなどものぼり旗の近くには貼れる場所があれば貼るなども考えているおり、そうした対応も考えている。

＜事前質問Q3＞今回の「のぼり旗」や「案内看板」等、具体的に何をどこに設置されるのでしょうか？審査会当日図面や実際の設置場所などの写真にてイメージできるようにご説明ください。）

《事前質問回答A3》※書画カメラにて設置場所の一部の現場写真を参考として提示がなされ設置イメージの説明がされた。また、具体的な設置場所については申請書類に添付しているとおりでありご確認いただければ幸いとの説明もされた。

（※審査会での質問事項）なし

公開審査終了

会長により、この後非公開による審議に入るため、事務局による準備が整うまで休憩に入る旨の説明、及び申請団体や傍聴者については審議は非公開であるため、会場より退出していただきたい事のお願いがされ、休憩に入った。

(2)非公開の審議

■休憩終了後、事務局進行により、集計結果報告を行った。

※申請団体毎に、審査票に「審査しない」とチェックした委員は離席。

申請毎に意見・コメントを読み上げ、以下の内容について協議。

- 無条件採択
- 意見を付して採択（努力義務）
- 条件付き採択
- 一部不採択（補助対象経費の一部減額措置等）

■決定事項

申請事業毎に協議を行い、審査結果についてすべて承認された。

また、事前に委員に対しお渡ししていた申請団体審査資料については個人情報保護のため事務局により回収し、代わりとして傍聴者等へ配布した資料と同様な書類を配布。

第2号議案 地域活動交付金事業2次募集について

事務局により、今回の交付金募集は予算枠6,370,000円に対し、2,994,000円の申請があり、審査において全ての団体の申請内容に対し採択となったため、予算執行可能枠として、3,376,000円がまだ活用できる状況になっている説明がされた。

このことに伴い、千郷地域協議会として追加（第2次）募集を実施すべきかどうか協議を行った。

さらに、判断材料として、事務局より次のとおり以下のとおり補足説明がされた。

募集期間中の相談状況については、今日の審査までに、事前相談や申請するつもりでいたなど、地域の活動団体より聞いてはいないということ。

令和元年度からは事前相談を年間通して随時受付を実施することとして変更しており、事前相談についても昨年度中に地域へ回覧するなど広く周知を図って実施している。

他地域自治区では、ほぼ1ヶ月の申請受付期間に対し、本地域協議会では2ヶ月間の受付期間を設けており、昨年度からの事前相談期間も含めれば団体による申請にあたっての検討期間は十分であったと感じている。

地域活動交付金も11年目になり、それぞれの団体が地域活動交付金の趣旨を理解、また見直しがなされ、以前と比べ申請件数が若干減少したと思われるが、一方では今後、地域活動が千郷地域協議会により策定された「地域計画」において、課題解

決に向けた実施事業の中で活発になることが期待される。

「千郷地域の課題解決や活性化に向けた取り組みがあるかどうか」であり、予算の枠がまだあるとか、資金が残っているという判断ではないので、そこは慎重に判断等をお願いしたいとのこと。

2次募集を実施することとなれば、千郷地域協議会の開催も増え、当然ながら審査会も再度開催する必要が生じ、委員にはその都度出席いただく必要が生じ、委員の皆さんへの報償費の支払額についても当然嵩むこととすること。

以上のような事を踏まえ、慎重に協議していただきたいことが補足された。

本議案について、会長より意見や質疑について委員に聴取したが、特に意見や質疑等もなく採決に移った。

採決の結果は次のとおり。

○再度（2次）募集を実施したほうが良い・・・0名

○再度（2次）募集は実施しない・・・・・・・・・・26名

○未挙手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0名

■決定事項

採決の結果、本年度は再度募集はしないこととして承認された。

3 連絡事項

(1)第3回千郷地域協議会地域計画策定分科会の開催日程について

令和5年7月5日（水）19：00から

西部公民館多目的ホールにて開催予定

(2)第4回千郷地域協議会の開催日程について

令和5年7月19日（水）19：00から

西部公民館多目的ホールにて開催予定

以上の事について会長より連絡がされた。

4 閉会